

がん教育の現状と薬剤師のかかわり

令和7年1月19日

第62回岐阜県学校薬剤師大会

第59回岐阜県学校環境衛生研究大会

広島県薬剤師会会長

日本薬剤師会 学校薬剤師会部会幹事

豊見 雅文

がん教育の目的

- ① がんについて正しく理解することができるようにする
- ② 健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする

がん教育の歴史

- 2012年に政府が策定したがん対策推進基本計画において、「子どもに対しては、健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理し、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識をもつよう教育することを目指し、5年以内に、学校での教育の在り方を含め、健康教育全体の中で「がん」教育をどのようにするべきか検討し、検討結果に基づく教育活動の実施を目標とする」こととされた。
- 2013年に公益財団法人日本学校保健会に検討会を設置し、がん教育の在り方等について検討してきたところであるが、更なる充実を図るため、2014年度から国においても新たに「がんの教育総合支援事業」を立ち上げ、有識者による「がん教育」の在り方に関する検討会を設置するとともに、モデル校等で多様な取組を実施し、それらを踏まえつつ、今後のがん教育の推進に向けて検討することとした。

外部講師を活用したがん教育ガイドライン

2016年4月

- 目的や意義を地域・社会と共有し、がん専門医をはじめとする医療従事者やがん経験者等、学校外の人材を積極的に活用することが重要である。これらの外部講師は特定の資格や認定を要するものではなく、多様な人材が参画し、それぞれの専門性やこれまでの経験を十分生かせるような指導の工夫を行うことにより、がん教育がより実践的で効果的なものとなることが期待される。

	2017年度	2018年度	2021年度	2022年度	2023年度
外部講師を活用した学校数	2,676	3,007	3,040	4,091	4,459
全体の中の割合	(7.2%)	(8.1%)	(8.4%)	(11.4%)	(12.5%)
がん専門医	450	484	586	802	854
学校医	358	293	222	337	347
その他医師	178	428	397	572	645
薬剤師	392	506	416	430	543
	(14.6%)	(16.8%)	(13.7%)	(10.5%)	(12.2%)
保健師	154	362	302	451	493
看護師	95	204	288	451	497
がん経験者	562	651	696	1,039	1,135
その他	963	860	793	874	1,053

2017年度 県別薬剤師活用学校数

	外部講師 活用校数	薬剤師	割合		外部講師 活用校数	薬剤師	割合		外部講師 活用校数	薬剤師	割合
北海道	101	3	3.0%	石川県	28	9	32.1%	岡山県	25	6	24.0%
青森県	38	10	26.3%	福井県	4	0	0.0%	広島県	98	26	26.5%
岩手県	117	58	49.6%	山梨県	15	0	0.0%	山口県	46	11	23.9%
宮城県	32	4	12.5%	長野県	44	12	27.3%	徳島県	18	1	5.6%
秋田県	24	1	4.2%	岐阜県	60	20	33.3%	香川県	30	0	0.0%
山形県	26	1	3.8%	静岡県	51	22	43.1%	愛媛県	16	1	6.3%
福島県	27	6	22.2%	愛知県	100	6	6.0%	高知県	24	4	16.7%
茨城県	125	9	7.2%	三重県	32	6	18.8%	福岡県	185	13	7.0%
栃木県	18	0	0.0%	滋賀県	80	4	5.0%	佐賀県	115	33	28.7%
群馬県	52	4	7.7%	京都府	65	0	0.0%	長崎県	33	5	15.2%
埼玉県	126	11	8.7%	大阪府	79	12	15.2%	熊本県	60	22	36.7%
千葉県	51	6	11.8%	兵庫県	78	5	6.4%	大分県	32	7	21.9%
東京都	220	13	5.9%	奈良県	15	0	0.0%	宮崎県	18	5	27.8%
神奈川県	42	1	2.4%	和歌山県	72	5	6.9%	鹿児島県	101	2	2.0%
新潟県	42	5	11.9%	鳥取県	42	2	4.8%	沖縄県	11	5	45.5%
富山県	8	0	0.0%	島根県	50	16	32.0%	合計	2,676	392	14.6%

2023年度 活用した外部講師の職種（複数回答可）

	がん 専門医	学校医	その他の 医師	薬剤師	保健師	看護師	がん 経験者	がん罹患者 の家族等	がん関連 団体等職員	保健所 職員	大学 教員等	その他
小学校段階	232	192	230	387	269	189	476	35	196	37	40	150
	11.3%	9.3%	11.2%	18.8%	13.1%	9.2%	23.2%	1.7%	9.5%	1.8%	1.9%	7.3%
中学校段階	456	128	298	123	187	237	471	60	189	24	49	112
	25.7%	7.2%	16.8%	6.9%	10.5%	12.8%	26.5%	3.4%	10.6%	1.4%	2.8%	6.3%
高等学校段階	170	27	118	31	37	82	191	9	57	10	36	49
	26.9%	4.3%	18.7%	4.9%	5.9%	13.0%	30.2%	1.4%	9.0%	1.6%	5.7%	7.8%
合計	858	347	646	541	493	498	1138	104	442	71	125	311
	19.2%	7.8%	14.5%	12.1%	11.0%	11.2%	25.5%	2.3%	9.9%	1.6%	2.8%	7.0%

外部講師を活用していない学校が87.6%

(2023年度)

- その理由は（複数回答可）
- 適当な講師がいなかった 6,952校(22.1%)
- 講師謝金等の経費が確保できなかった 3,703校(11.8%)
- 指導時間が確保できなかった 14,369校(45.7%)
- 医療従事者やがん患者・経験者等が参画・出演して
作成された資料や動画等を活用したため 2,632校(8.4%)
- その他 10,634校(33.8%)

○ [がん教育推進のための教材 補助教材](#)

がん教育を実施する際の参考資料となるよう、文部科学省において作成した「がん教育推進のための教材」に対応したスライド資料を作成しました。

小学生版

- [▶ 補助教材:教師用指導参考資料 \(PDF:3.1MB\)](#) 
- [▶ 映像教材:がん博士の「がんについての基礎知識」\(※「YouTube」文部科学省動画チャンネルへリンク\)](#) 
- [▶ ワークシート \(PDF:3.5MB\)](#) 

中学校・高等学校版

- [▶ 補助教材:教師用指導参考資料 \(PDF:2.5MB\)](#) 
- [▶ スライド教材モジュール1:がんという病気\(15スライド\) \(PDF:2.9MB\)](#) 
- [▶ スライド教材モジュール1:がんという病気\(15スライド\) \(PowerPoint:934KB\)](#) 
- [▶ スライド教材モジュール2:日本のがんの現状\(12スライド\) \(PDF:2.8MB\)](#) 
- [▶ スライド教材モジュール2:日本のがんの現状\(12スライド\) \(PowerPoint:954KB\)](#) 
- [▶ スライド教材モジュール3:がんの発生と進行\(16スライド\) \(PDF:2.2MB\)](#) 
- [▶ スライド教材モジュール3:がんの発生と進行\(16スライド\) \(PowerPoint:1.5MB\)](#) 
- [▶ スライド教材モジュール4:がんの予防\(13スライド\) \(PDF:2.4MB\)](#) 

- 映像教材: [がん博士の「がんについての基礎知識」](#) (※「YouTube」文部科学省動画チャンネルページ) 
- ワークシート (PDF:3.5MB) 

中学校・高等学校版

- 補助教材: 教師用指導参考資料 (PDF:2.5MB) 
- スライド教材モジュール1: がんという病気 (15スライド) (PDF:2.9MB) 
- スライド教材モジュール1: がんという病気 (15スライド) (PowerPoint:934KB) 
- スライド教材モジュール2: 日本のがんの現状 (12スライド) (PDF:2.8MB) 
- スライド教材モジュール2: 日本のがんの現状 (12スライド) (PowerPoint:954KB) 
- スライド教材モジュール3: がんの発生と進行 (16スライド) (PDF:2.2MB) 
- スライド教材モジュール3: がんの発生と進行 (16スライド) (PowerPoint:1.5MB) 
- スライド教材モジュール4: がんの予防 (13スライド) (PDF:2.4MB) 
- スライド教材モジュール4: がんの予防 (13スライド) (PowerPoint:844KB) 
- スライド教材モジュール5: 検診の意味 (12スライド) (PDF:1.9MB) 
- スライド教材モジュール5: 検診の意味 (12スライド) (PowerPoint:1.4MB) 
- スライド教材モジュール6: がんの治療で大切なこと (11スライド) (PDF:1.4MB) 
- スライド教材モジュール6: がんの治療で大切なこと (11スライド) (PowerPoint:758KB) 
- スライド教材モジュール7: がん治療の支援 (14スライド) (PDF:2.1MB) 
- スライド教材モジュール7: がん治療の支援 (14スライド) (PowerPoint:1.2MB) 
- スライド教材モジュール8: がん患者の思い (5スライド) (PDF:1.1MB) 
- スライド教材モジュール8: がん患者の思い (5スライド) (PowerPoint:653KB) 
- スライド教材モジュール9: がん患者と共に生きる社会 (13スライド) (PDF:1.5MB) 
- スライド教材モジュール9: がん患者と共に生きる社会 (13スライド) (PowerPoint:1.2MB) 

計111スライド

お問合せ先

初等中等教育局健康教育・食育課



がんって
どんな病気
なの？

自分は
将来がんになる
可能性はあるの？

何人に1人が
がんになるの？

がんを防ぐ
方法って
あるの？

年をとったら
誰でもがんに
なるの？

若くてもがんに
なる人が
いるの？

親せきにがんの人が
いると自分もがんに
なりやすいの？

自分は絶対
がん
になりたくない

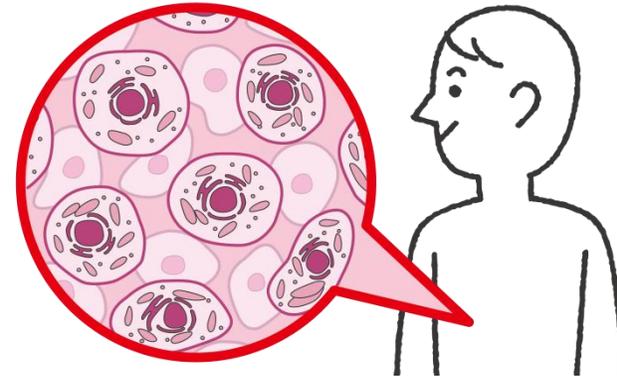
家の人
ががんになったら
いやだ

がんは自分に
関係ない

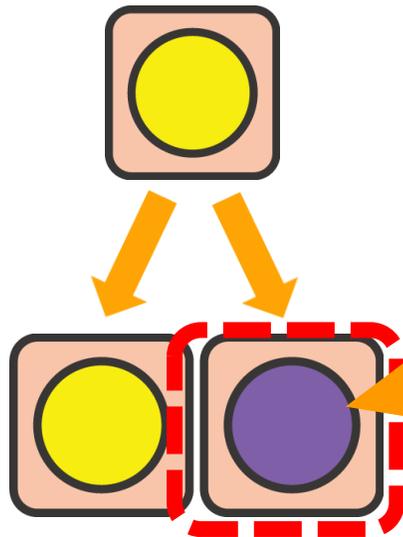


がんのしくみ

わたしたちの
体の細胞は
毎日分裂し
新しくなっている

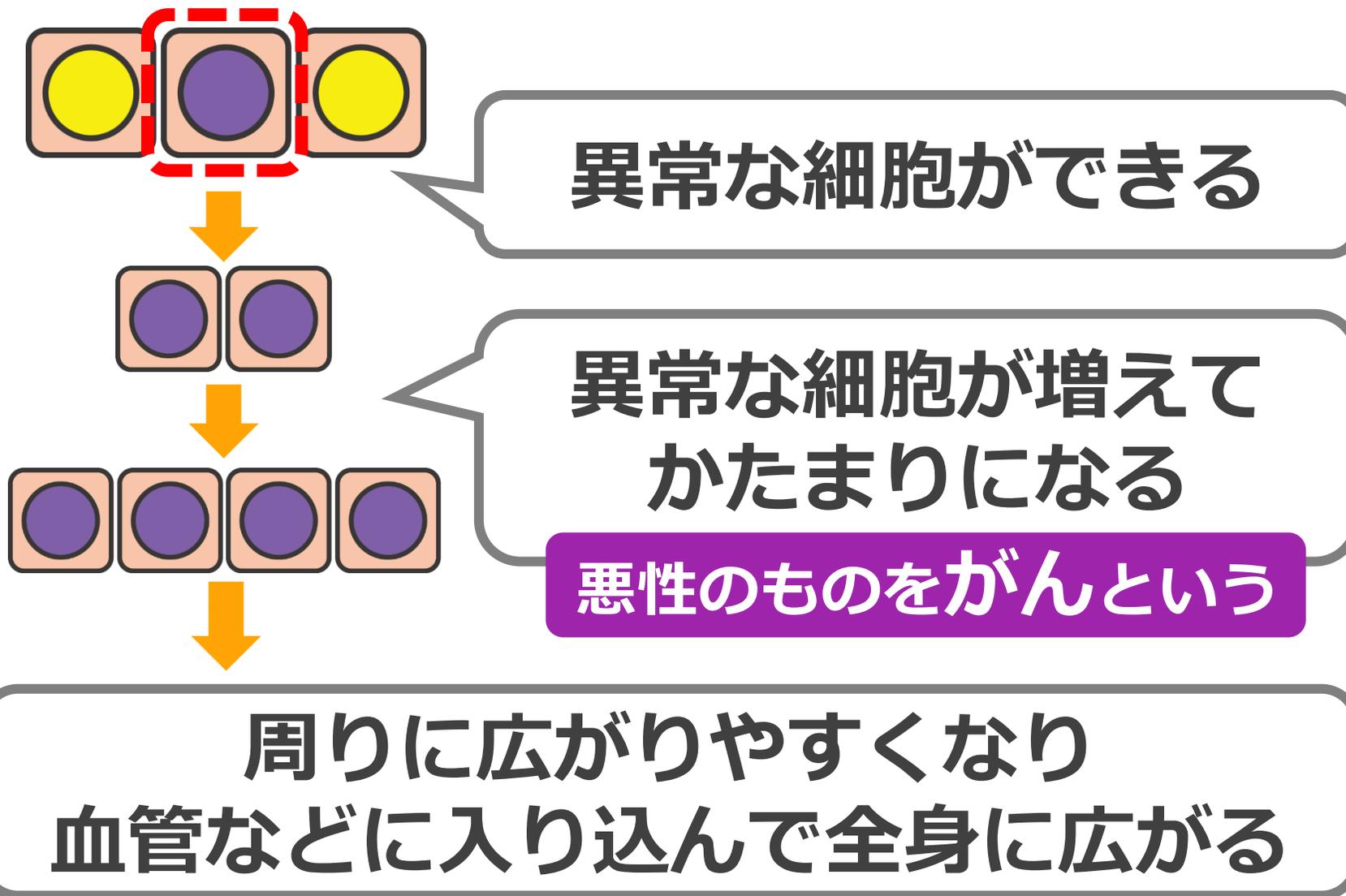


約37兆個



細胞分裂するとき
変異
が起こることがある

修復のしくみが働かないとき

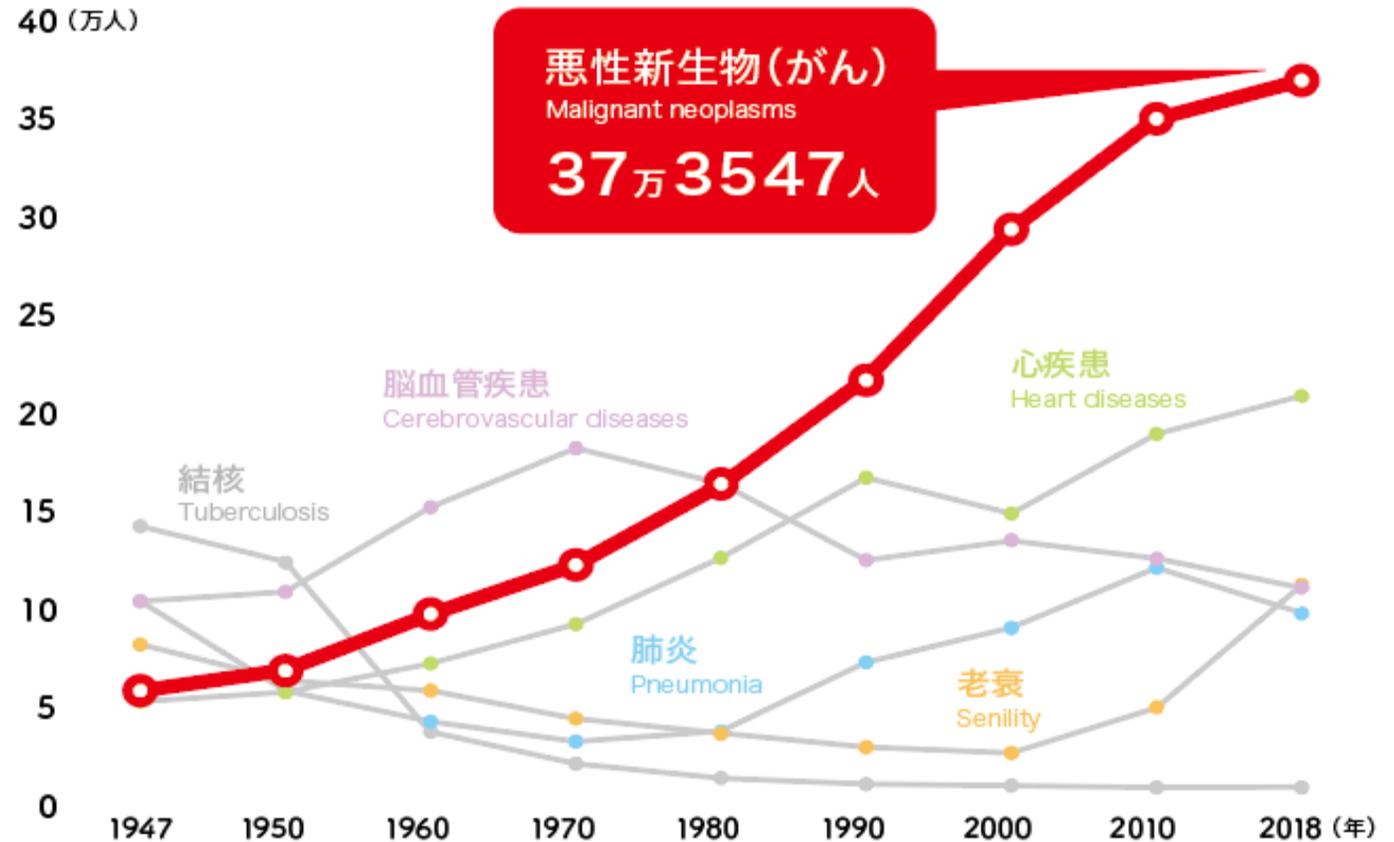


がんになる人の割合



2人に1人

がんによる死亡数



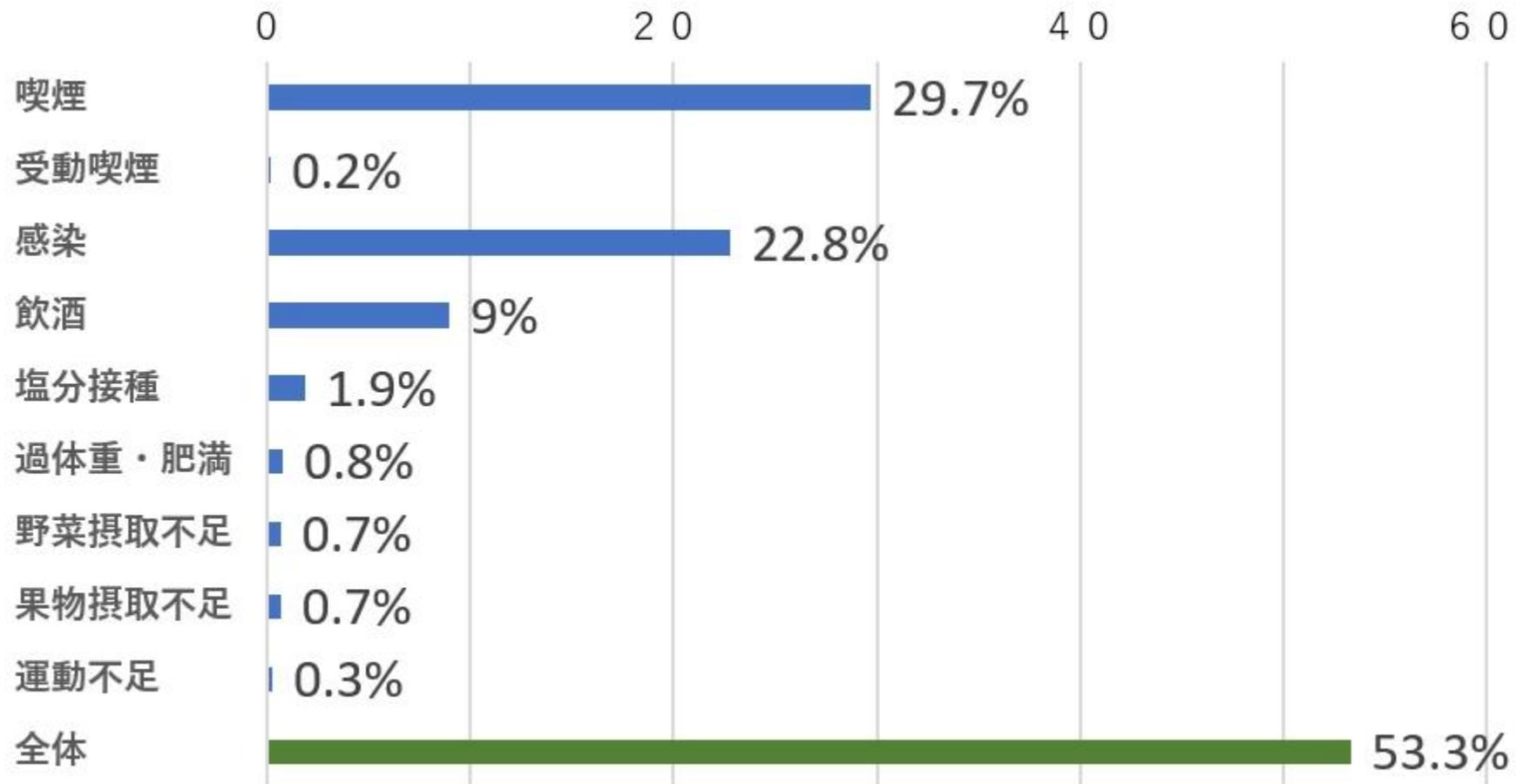
(厚生労働省「人口動態統計」を基に公益財団法人がん研究振興財団が作成(「がん統計'19」))

3人に1人ががんで亡くなっている

がんによる死亡数は増え続けている

がんの原因

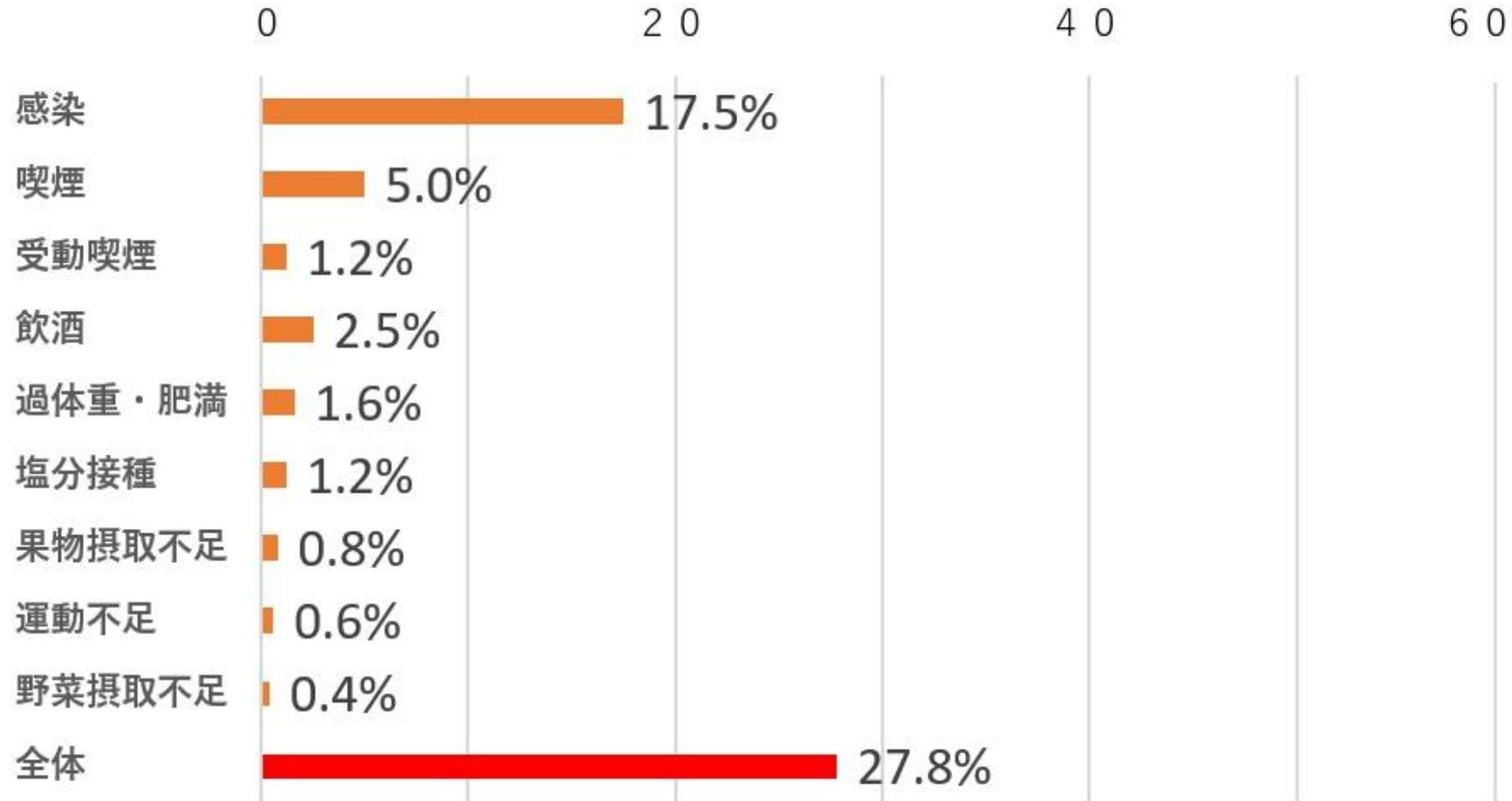
男性の場合



(「科学的根拠に基づくがんリスク評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究 (Inoue, M. et al.: Ann Oncol, 2012; 23(5): 1362-9)」を基に国立がん研究センターがん情報サービスが作成)

がんの原因

女性の場合



(「科学的根拠に基づくがんリスク評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究 (Inoue, M. et al.: Ann Oncol, 2012; 23(5): 1362-9)」を基に国立がん研究センターがん情報サービスが作成)

- ・がんはありふれた病気
- ・感染症は原因になるが、がんは感染しない

がんの原因

がんには原因のわかっているものとわからないものがある

細菌・
ウイルス

生活習慣

遺伝的
原因

不明

今、わたしたちにできること

喫煙・受動喫煙・飲酒・食事（野菜不足、脂肪のとりすぎなど）・運動不足など

ワクチン・除菌

細菌・
ウイルス

生活習慣

検診

遺伝的
原因

今、自分にできることを
心がけることが大切



病名から探す

治療と生活

制度やサービス

世代別の情報

予防・検診

資料室

HOME > がんの基礎知識 > 標準治療と診療ガイドライン



がんの基礎知識

標準治療と診療ガイドライン

～一人ひとりにとっての最適な治療を選択するにあたって～

1. 標準治療とは

2. 診療ガイドラインとは

3. 「一人ひとりにとっての最適な治療」とは

4. 診療ガイドラインの利用にあたって

5. 参考資料

一人ひとりが最適な治療を選択するにあたっては、標準治療や診療ガイドラインについて理解しておくことが大切です。このページでは、標準治療や診療ガイドラインの概要と、一人ひとりにとっての最適な治療を選択するときのポイント、診療ガイドラインの利用にあたって気を付けたいことを紹介しています。

1. 標準治療とは

標準治療とは、科学的根拠（エビデンス：あるテーマに関する試験や調査などの研究結果から導かれた、科学的な裏付け）に基づいた観点で、現在利用できる「最良の治療」であることが示され、多くの患者に行われることが推奨される治療のことをいいます。

がんの基礎知識

がんという病気について

標準治療と診療ガイドライン

各種ガイドライン等の
情報へのリンク集

病名をキーワードで検索

病名をキーワードで検索

部位・臓器から
探す相談先・
病院を探す

3. 慎重な確認が必要な免疫療法

- 「効果が証明されていない免疫療法」のうち、「自由診療として行われる免疫療法」は、治療効果・安全性・費用について慎重な確認が必要です

「効果が証明されていない免疫療法」は、「自由診療として行われる免疫療法」と、臨床試験や治験などの「研究段階の医療として行われる免疫療法」に分けられます。

自由診療として行われる免疫療法

「効果が証明されていない免疫療法」のうち、治療効果や安全性が証明されておらず、保険診療で受けることができないものは、一部の民間のクリニックや病院において、「自由診療として行われる免疫療法」として行われることがあります。「自由診療として行われる免疫療法」は、効果が証明されておらず、医療として確立されたものではありません。この場合の治療費は、患者が全額自費で支払う必要があります。

例えば、自由診療で行われるがんペプチドワクチンや、樹状細胞ワクチンを使うがんワクチン療法などは、「効果が証明されていない免疫療法」で、医療として確立されたものではなく、かつ保険診療で受けることができません。そのため、治療効果、安全性はもちろん、費用の面からも慎重な確認が必要です。



相談先・
病院を探す



薬剤師として是非加えたいはなし

- 標準治療とは平均的な治療では無い
 - 国立がん研究センターのがん情報サービス
- ニセ医療
 - 自由診療の免疫療法
 - 他にも水素風呂、濃厚ビタミンC点滴
 - 「がんもどき」で無治療、ホメオパシー、デトックス・・・
- 緩和ケア
- HPVワクチン (みんパピ)
 - 岡山県の動画
 - キャッチアップ接種 (3月までに1回目を、シルガード9)
 - 定期接種 (小学校6年～高校1年相当の女の子)

がん教育と学校薬剤師のかかわり

- 学校薬剤師は以前から「がん教育」に参画していた。
- 学校薬剤師は簡単に「がん教育」に参画できる。
- 学校薬剤師は独自の立場での正しい説明ができる。

水からの伝言

「完全ベスト版」

地球を一つにつないだ
『超』ビジュアル・メッセージ

水からの伝言

水と心はつながっている—
結晶写真がおしえてくれたひみつのコネクション
そのすべてをこの一冊に凝集!!
世界の始まりは、美しくクリエイティブな言葉しかなく
たはず。幸せは、否定的な言葉からは決して生まれません。
あなたの言葉は、すべてのものを変える力を持っています。

江本 勝

Special Box
Color Book×2
+ DVD×1

DVD化世界初!
水に音楽を
聴かせた結晶
動画付き



water knows the answers
水は答えを知っている
the hidden messages in water crystals
その結晶にこめられたメッセージ



江本 勝
masaru emoto

世界31カ国で話題の
ロングセラー。

シリーズ国内40万部、全世界で180万部突破!
氷結結晶が教えてくれる、宇宙のしくみ、人の生き方。

S
B
サンマーク
文庫

- 時泥棒
 - 断りなく相手を訪問し、または、約束の時間に遅れるなどで相手の時間を奪うのは重い罪（十両の罪）にあたる
- 喫煙しぐさ
 - 野暮な「喫煙禁止」などと張り紙がなくとも、非喫煙者が同席する場では喫煙をしない
- 傘かしげ
 - 雨の日に互いの傘を外側に傾け、体を濡らさないようにすれ違ふこと

江戸しぐさ

- 江戸しぐさとは、芝三光（しば・みつあきら）によって創作・提唱され、NPO法人日本のこころ・江戸しぐさが「江戸商人のリーダーたちが築き上げた、上に立つ者の行動哲学」と称し普及、振興を促進する概念・運動である
- 多くの道徳教材に掲載された。
- 2017年に消滅といわれている

学校で教えられているニセ科学

- 水からの伝言
- 江戸しぐさ
- EM菌 (EM製品)
 - 新・夢に生きる 比嘉照夫
 - 岐阜の学校で 代わりにマグクリーンSP